平成 30 年度　自殺対策関係者研修会

備北地域は県内でも自殺死亡率が高く，全自殺者の約半数が60歳以上の高齢者等となっています。国の機関である自殺総合対策推進センターは，この地域の重点施策として高齢者等への取組みを推奨しました。そこで，当圏域の地域実態に即した効果的な対策を推進するため，昨年，地域生活をする高齢者等の相談に関わっておられる職種の方を対象に実態調査を行いました。

この結果をふまえて，高齢者等から出されたＳＯＳに対して，周囲にいる支援者が気づく感度をいかに高め，また，どのように受け止め，寄り添い，命を守っていくか等について研修を開催することにしました。

研修会では，実際に活動の中で活用していただけるよう，気づきや対処などについてより具体的に学ぶ機会を設けました。ぜひともこの機会に，皆さんが活動の中で悩まれていること，不安に思うこと等をしっかり解決して，自信をもって適切な支援ができるようになりませんか。

	庄原会場	三次会場
日　時	平成 31 年２月 18 日（月）13:30～15:30	平成 31 年３月１日（金）13:30～15:30
会　場	広島県庄原庁舎　第３庁舎　301 会議室 （庄原市東本町一丁目４－１）	広島県三次庁舎　第３庁舎　601 会議室 （三次市十日市東四丁目６－１）
内　容	1　備北圏域高齢者自殺実態調査結果報告　　広島県北部保健所職員 2　講義「自殺につながるうつ病のサインへの気づきと効果的な対処のための心得 ～備北圏域高齢者自殺実態調査の結果をふまえて～」 講師　市立三次中央病院　緩和ケア内科　医長　佐伯俊成先生 【講師紹介】 昭和 60 年広島大学医学部卒。広島大学病院精神科研修医，JA 吉田総合病院，広島市民病院，中国労災病院，安佐市民病院，東京都立墨東病院精神科を経て，平成 8 年から広島大学病院精神科助手。平成 10 年同医局長。　平成 14 年同講師。平成 16 年同総合診療科准教授。平成 25 年 4 月から現職。平成 28 年 10 月緩和ケアセンター長兼務。 外来・入院緩和ケアに加えて在宅緩和ケアも積極的に推進。うつ病ケア／自殺予防，認知症ケアにも通暁。 厚生労働省精神保健指定医，日本心身医学会心身医療認定医，日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学指導医・専門医。 3　質疑等	
対象者	介護療養型医療施設，介護老人保健施設，介護老人福祉施設，訪問看護事業所，居宅介護支援事業所，地域包括支援センター，市役所に勤務する介護支援専門員，社会福祉士，保健師等	

※　庄原会場，三次会場のどちらか都合の良い会場で受けることができます。

※　質問時間は十分確保していますので，プライバシーに配慮した上で事例提供していただくことは可能です。

【申込み・問合せ】

◇　申込みは裏面の申込書に必要事項をご記入の上，ファックスでお申し込みください。
（申込期限：平成３１年２月８日（金）まで）

◇　備北地域保健対策協議会　【事務局：広島県北部保健所　保健課保健対策係】
電話　０８２４−６３−５１８５（直通）

大切な　命守ろう　地域の輪

主　催　　備北地域保健対策協議会

広島県自殺対策シンボルマーク

別　紙

自殺対策関係者研修会参加申込書

FAX送信先　0824-63-5190

【申込み締切　2月8日（金)】

所属機関		連絡先TEL		希望会場に○印をつけてください	
氏名		職種		庄原会場（2/18）	三次会場（3/1）
氏名		職種		庄原会場（2/18）	三次会場（3/1）
氏名		職種		庄原会場（2/18）	三次会場（3/1）

＊ 申込書は<u>申込締切日必着</u>でＦＡＸにより提出してください。
＊ ＦＡＸでの申し込みが難しい場合は，電話での申し込みも可能です。
（電話受付：月～金曜日（祝日を除く）　8：30～17：15）
＊ 参加申込書に記載された個人情報は，本研修会の運営のためにのみ使用します。

□ 講師への質問があれば御記入ください。
□ また，質問時間を十分確保しておりますので，プライバシーに配慮した上で，事例を提供していただくことは可能です。

申込み・問い合わせ先　備北地域保健対策協議会
【事務局　広島県北部保健所　保健課保健対策係】
電話　０８２４－６３－５１８５（直通）